

Best Available Copy

PAT-NO:

JP357178946A

DOCUMENT IDENTIFIER:

JP 57178946A

TITLE:

LIGHTING APPARATUS FIXING METHOD FOR CAR RADIATOR GRILL

PUBN-DATE:

November 4, 1982

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

OKURA, TOSHIO

IWATA, TAKAO

INOOKA, HIDEKI

ICHIMURA, MASANORI

OTAKE, SHINICHI

Best Available Copy

for

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

HASHIMOTO FORMING CO. LTD

COUNTRY

N/A

APPL-NO:

JP56066017

APPL-DATE:

April 30, 1981

INT-CL (IPC):

B60Q001/04, F21M007/00

US-CL-CURRENT:

ABSTRACT:

PURPOSE: To simplify a molding process and upgrade its strength by molding a lamp housing and a radiator grill as one piece construction during injection molding and fixing a lighting apparatus to radiator grill.

CONSTITUTION: When a radiator grill 11 is molded by an injection molding method, a cup-shaped lamp housing molding space L is formed and communicated to a molding space M which forms the grill 11 between the metal molds A and B. Resin is then injected and molded into one piece-shape. After the molding, a mask is laid and a reflex film is formed in the interior of a housing lamp 12 by vacuum evaporation and spattering. Therefore, molding can be achieved by a single process, and the need of screw clamping is eliminated, thereby simplifying the molding process. In addition to the simplified process, the mechanical strength can be improved by the integrated construction.

COPYRIGHT: (C) 1982, JPO&Japio

Best Available Copy

③ 日本国特許庁 (JPO)

① 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭57-178946

⑪ Int. Cl.<sup>3</sup>  
B 60 Q 1/04  
F 21 M 7/00

識別記号

庁内整理番号  
6471-3K  
6471-3K

⑬ 公開 昭和57年(1982)11月4日

発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑭ 自動車用ラジエータグリルへの照明装置の固定方法

横浜市保土ヶ谷区常盤台166-5  
5

⑮ 特 願 昭56-66017

⑯ 発 明 者 市村正則

横浜市戸塚区平戸町903-15

⑰ 出 願 昭56(1981)4月30日

⑰ 発 明 者 大竹信一

鎌倉市山の内963

⑱ 発 明 者 大倉敏夫

横浜市戸塚区飯島町527飯島団  
地 6-1-704

⑲ 出 願 人 橋本フオーミング工業株式会社  
横浜市戸塚区上矢部町字藤井32  
0番地

⑳ 発 明 者 岩田孝雄

横須賀市東逸見町4-36

㉑ 代 理 人 弁理士 宮園純一

㉒ 発 明 者 猪岡秀樹

明細書の浄書(内容に変更なし)  
明 細 書

1. 発明の名称

自動車用ラジエータグリルへの照明装置の固定方法

2. 特許請求の範囲

(1) 自動車用ラジエータグリルをインジェクション成形によって成形することとし、この成形金型の成形空間と一体にランプ取付用のハウジングを形成する成形空間を形成し、両成形空間に樹脂をインジェクションしてラジエータグリル本体にランプハウジングを一体成形し、その後上記ハウジングにランプを組み込むようにしたことを特徴とする自動車用ラジエータグリルへの照明装置の固定方法。

(2) 前記ラジエータグリル本体と一体成形されたランプハウジングはカップ状に形成し、その底部にランプ又はランプバルブを取付けるための段差溝等から成る取付部を設けた特許請求の範囲第1項記載の自動車用ラジエータグリルへの照明装置の固定方法。

(3) 一体成形後にハウジング内面に光線を反射し得る色調の被膜を設けた特許請求の範囲第1項、第2項いずれか記載の自動車用ラジエータグリルへの照明装置の固定方法。

3. 発明の詳細な説明

本発明は自動車用ラジエータグリルへの照明装置の固定方法、特にランプハウジングをラジエータグリルに一体化する方法に関するものである。

従来、自動車用ラジエータグリルに照明装置を固定する方法として例えば第1図に示すようなものが公知である。同図において、1はラジエータグリル本体であり、複数の格子を一体化して成り、自動車への取付手段1aを有し、両端に設けられた中空部1cにねじ等によりラジエータグリルとは別個に成形し、かつ内側に光輝処理されたランプハウジング2が固定される。なお、このハウジング2には電球3を取付けた後、シーリングカバー4を被せ、さらにランプレンズ5をねじ6で取付けている。

しかしながら、このような従来の自動車用ラジ

エータグリルへの照明装置の固定方法によれば、ラジエータグリル本体とランプハウジングを別々に成形し、ランプハウジングにランプ、透明レンズ、カバーを取付けてラジエータグリルにこのハウジングを組み込む必要があり、このためにラジエータグリルとランプハウジングの2回の成形が必要となり、当然金型も2型必要になるだけでなく2個の成形品を成形した後に組立工程が必要になることから量産化が図れず、また、ラジエータグリルにハウジング収納用の中空部が設けられるので強度不足になるとか、取付に関する制約が出たりするという問題を有していた。特に、ランプハウジングがねじ止めであるので、長時間の使用で緩みが生じてランプハウジングが位置ずれ又は脱落してしまい、またランプハウジングを取付けるときに作業者の手などに傷を負わせることがあった。

本発明はラジエータグリル本体をインジェクション成形により成形し、ラジエータグリル本体を成形するインジェクション成形金型中に予めラン

プハウジング成形空間を形り込んで成形し、ラジエータグリル本体とランプハウジングを同時に一体成形し、必要に応じてハウジング内部をラジエータグリルとは別に銀色塗装し、このハウジングにランプを取付けることにより上記問題点を解消するもので、以下実施例を用いて詳細に説明する。

第2図は本発明により得られるラジエータグリルの一例を示す図であり、同図において11はラジエータグリル本体であって、このラジエータグリル11に底部にランプ保持部12aを有するカップ状のランプハウジング12が一体成形により一体化されている。また、ランプハウジング12の内側にはランプ効率を上げるべく一体又は部分的に光輝処理が施されるか又は白色、銀色被膜が形成されている。なお、この処理は光輝、白色、銀色物質を蒸着、スパッタリング、塗装等の方法により行なわれる。電球13は上記ランプハウジング12のランプ保持部12aに取付けられ、ついで枠状のシール材14がランプハウジング12に設けられた先端側の段差12bにセットされ、

透明レンズ又はカバー15がラジエータグリル11側にネジ、ボルト、ナット16等により組付けられる。なお、段差12bにはシール材14を位置決めするストッパ12cが突出する。このような照明装置は例えばウィンカーランプ、フォグランプ、クリアランスランプとして用いられる。

本発明においては、第3図に示すようにインジェクション成形によってラジエータグリル本体11を成形することとし、その金型Aと金型Bとの間を形成されるラジエータグリル本体11を形成するためのインジェクション成形空間Mに連通してカップ状のランプハウジングの成形空間Lを形成しておき、この成形空間M、Lに樹脂をインジェクションする。その後、金型より成形品を取り出しスダをした状態で蒸着、スパッタリング等でハウジング12の内側に反射被膜を形成するのである。なお、この蒸着、スパッタリング等においてスダをすることなくラジエータグリル本体11にもこの被膜を被着してもよい。

以上説明したように本発明によれば、ラジエー

タグリルをインジェクション成形により成形することとし、この成形空間にランプハウジングの成形空間を成形してインジェクション成形するようにしたので、ラジエータグリルとランプハウジングとを一体成形品とすることができ、ラジエータグリルとランプハウジングとの2回の成形が1回の成形で済み、金型も1型で良く、後工程のラジエータグリルとランプハウジングとの組立作業をなくすることができる。特にランプハウジング12がラジエータグリル11と一体となるので、ラジエータグリル11によりランプハウジング12が補強され、機械的強度が大きくなり外部衝撃で容易にクラックすることがない。また、ラジエータグリルとランプハウジングをねじ止めしていないので、ねじの緩みでハウジングが走行中に位置ずれしたり、脱落したりせず、また、一体成形となっているためラジエータグリルにハウジング収納用の中空部が形成されず、ラジエータグリル自体の強度を向上できる。また、ランプハウジングに左右の区別のある部品に対しては一体となってい

るため、逆組付けの虞れがなく取付作業が容易となる。

11...ラジエータグリル本体、12...ランプハ

ウジング、13...電球、14...シール材。

なお、本発明においては、第4図に示すようにランプハウジング12をラジエータグリル11における格子が形成されていない端部側に形成しても、あるいは第5図に示すようにランプハウジング12を両サイドを向くようにかつフレーム11を介してラジエータグリル11と一体化するように成形してもよい。また、第6図に示すようにランプハウジング12をラジエータグリル11に複数個一体化して、複数種類の照明装置を形成してもよい。

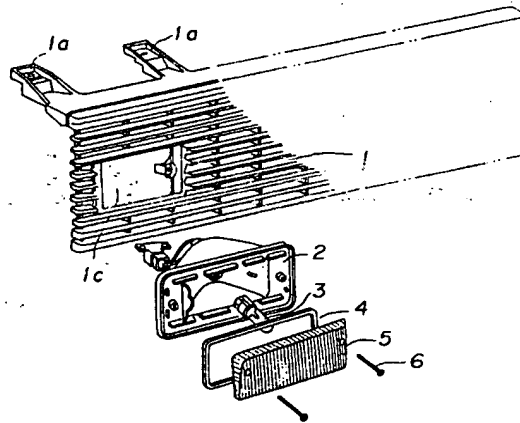
特許出願人 橋本フォーミング工業株式会社

代理人 弁理士 官 園 純 一

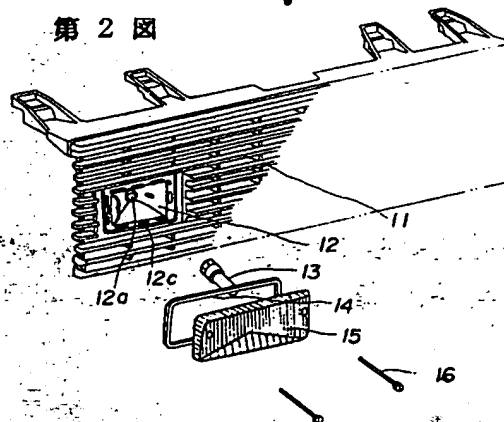
#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は従来の自動車用ラジエータグリルへの照明装置の固定方法の一例を示す図、第2図、第3図は本発明による自動車用ラジエータグリルへの照明装置の固定方法の一実施例を示す簡略構成図、第4図ないし第6図は本発明による自動車用ラジエータグリルへの照明装置の固定方法の他の実施例を示す斜視図である。

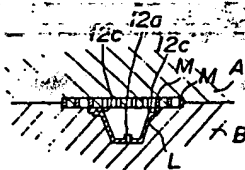
第1図 図面の浄書(内容に変更なし)



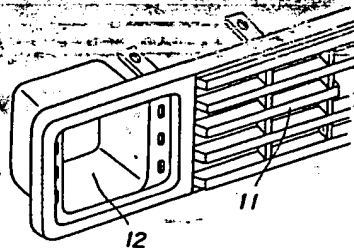
第2図



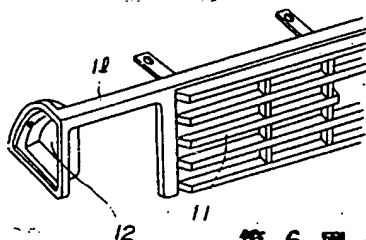
第 3 図



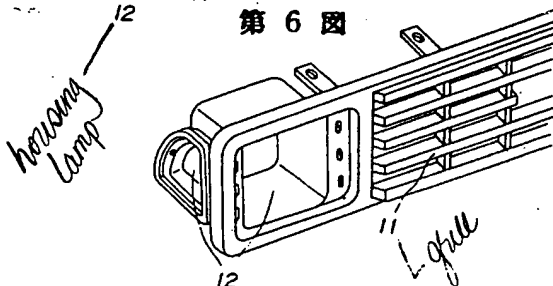
第 4 図



第 5 図



第 6 図



手 続 補 正 書

昭和 56 年 5 月 15 日

特許庁長官 島 田 春 樹 殿

1. 事件の表示

昭和 56 年 4 月 30 日提出の特許願 (A)

2. 発明の名称

自動車用ラジエータグリルへの照明装置の固定方法

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住 所 神奈川県横浜市戸塚区上矢部町字藤井 320 番地

名 称 橋本フォーミング工業株式会社

代表者 大 木 清 吾

4. 代 理 人 〒102

住 所 東京都千代田区飯田橋 2 丁目 7 番 10 号

第 1 ビル

宮 園 国 際 特 許 事 務 所

電話 03-(234)5650 代表

氏 名 (8029) 弁 理 士 宮 園 純 一

5. 補正の対象 願書

6. 補正の内容

(1) 序書の願書, 明細書, 図面を提出する。

以 上